

今号のわだい

- [1面] 各県青年部行事、広島カープ観戦
- [2面] 団交に行こう!(徳厚労より)
三北・関信ブロック春闘討論集会
- [3面] 3・1ピキニデー、参加者の声

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
 厚生連
 〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>

ウィンターシーズン

青年部で交流深め団結へ

冬の季節、ウィンタースポーツや、多彩な企画で交流を深めた各県青年部の記事を寄せていただきました。病院で働く仲間と交流し、話し合うことが組合活動の第一歩です。悩みや相談から要求をあげ、働きやすい職場、働き続けられる職場を目指していきましょう。



「またすぐ集まりたい」という声も聞かれました

秋田 田沢湖に集まり全員が笑顔に

2月9日、10日、秋厚労青年部ウィンターフェスタが、仙北市プラザホテル山麓荘で開催され、56名が参加しました。日中は例年同様、スキーやスノーボードで交流を深める各支部と、今年からの新企画「湯めぐり(休暇村、砂の湯、蟹湯、大釜)」に参加し、大地の恵みあふれる乳頭温泉郷で日ごろの疲れを癒すグループに分かれました。

夕食交流会は「ナイトフェスタ」と題し、「新しい仲間を作ろう」をテーマに「1年に1度青年が集まる場」として毎年開催しているこのウィンターフェスタは、「集まることも闘い」と位置づけている秋厚労らしい取り組みでした。集会運営をする秋厚労青年部の皆さんが青年委員会を通して、どうすれば青年層の活気ある取り組みにつながるか、参加者全員が交流し楽しめる集会になるのかと、日頃から熟考し作り上げられていくと感じました。

(教宣部・岡野学)

富山 サプライズもありの楽しいきつかけ作り

2月1日、高岡支部でウィンターフェスタイベントを開催し、総勢58名の方に参加してもらいました。み

んなでお酒や食事、おしゃべりなど楽しい時間を過ごしました。催しとして豪華賞品をかけた炭酸早飲みや



ナイトフェスタでの伝言ゲーム

開催。秋厚労青年部がこの日のために準備をした様々な企画で盛り上がりました。伝言ゲームや、重さはかりゲームは、シンプルなゲームでしたが、青年部の巧みな司会進行と、参加者のフレッシュなパワーで、終始笑顔が耐えず大いに盛り上がりました。

長野 クイズを通して組合を知る

2月23日、24日、諏訪市で「長厚労青年部ウィンターフェスタイベント」が開催され、123名が参加されました。

1日目は、グループ対抗でクイズとレクリエーションを行いました。労働基準法に関するクイズでは、労働

トイレットペーパーの早巻き、青年部長とのじゃんけん大会など行い、さらに特別ゲストのDJとして医師に参加していただくサプライズもあり大変盛り上がりしました。病棟や職種の垣根を越え看護師、検査技師リハビリなど様々な方に交流をしてもらい、これをきっかけにより働きやすい職場・病院になっていけばよいと思います。

(富厚労・高平真宏)



炭酸ジュースの早飲み大会



初対面同士でも仲良くなれた交流会

労働組合の仕組みや重要性を学習しました。レクリエーションでは、ロシアンルーレットや一筆書きを行いました。どの班も、初対面同士で緊張した面持ちでしたが、次第に打ち解けることができました。

夕食交流会では、クイズ等での上位グループにギフト券やお菓子セットなどの景品贈呈、今年度当番支部の富士見高原医療福祉センターによる余興などを行い、大いに盛り上がりました。2日目は例年、雪上で騎馬

広島 組合で野球観戦 熱い応援がキラリ

2018年9月、カープは3連勝し、広島市全体がお祭り騒ぎでした。毎年、広厚労の尾道支部、吉田支部はカープ観戦をしています。



昨年、吉田支部は7月21日対巨人戦を観戦しました。暑い中、汗だくで応援し7対5でカープが勝利。勝てば、お立ち台での選手のコメントや、鈴木選手と野間選手が大きなクイラーボックスに水を入れて、お立ち台に上がる選手に水を豪快にかけるのを見るのが楽しみの一つです。そして、5回裏でカープのCCダンス、7回裏のジェット風船飛ばしも、カープ観戦の楽しみです。もう一つ、大事な楽しみ方は、マツダスタジアムのコンコースでカープ選手がプロデュースした「カープ飯」を食べながらビールを飲み、「宮島さん」を歌ってバンザイ三唱。この時ほどうれしい事はありません。私は、ちなみにカープうどんの全部乗せを、観戦した時は必ず食べます。

広厚労吉田支部・富永みち子

三重 スポーツで体を動かし交流深める

2月2日、安濃中央総合公園内体育館にてスポーツ大会を開催。組合青年部の看護師や技術職、事務職など多職種、約65名が集合しました!スポーツ経験に関係なく、みんなが楽しむことができるよう、しっぽとり、大縄跳び、5人6脚、直径約1mのボールを使った競技キンボールの、4競

技をチーム対抗形式で戦いました。キンボールは青年委員だけでなく、参加者のほとんどがしたことのない未知の競技でしたが、スポーツ大会で最も盛り上がった競技とな

(三厚労・青年委員会)



キンボールで白熱

団交に行こう！

徳厚労の取り組みより

本人が交渉参加 することが重要

徳厚労副執行委員長長の島山です。言語聴覚士（ST）をしています。私が組合役員になったきっかけは、「STの特別業務手当の新設」でした。同じリハビリ職である、理学療法士、作業療法士には、7500円の特別業務手当が付いているのにSTには付いていない、また、視能訓練士にも付いていないことが明らかになり、組合役員に相談し、要求項目として取り上げてくれることになりました。その後、事務折衝、団体交渉の中で要求し続けてくれましたが、経営が厳しいという理由で手当は支給されませんでした。

それならば、本人が直接交渉してみてもどうかと提案



徳厚労春闘討論集会での島山さん

案があり、書記次長として事務折衝、団交に臨むことになりました。その中で、業務内容、施設基準、売上地域に養成校がなく求人募集をしても集まりにくい、他の病院では支給金額に差がない（リハビリ職）、国家資格で手当が付いていないのはSTと視能訓練士だけ（徳島厚生連の中で）である等を説明し、要求し続けました。

3年後、ようやく「STと視能訓練士に特別業務手当2000円」が支給されることになりました（新設）。要求実現に時間がかかり、諦めかけたこともありました。その度に、組合役員の方々が励ましてくれました。事務折衝、団交では、自分のことのように熱心に交渉する姿を見て心を打たれました。一人では不可能なことも、数の力と団結力があれば、要求実現につながるのだということを実感しました。

現場の声を要求にする 「当たり前」が一番大切

要求書作りは、日頃から地道に活動し、些細なことも放っておかず、問題解決に努めることで組合に興味



徳厚労団結ガンパロー

が湧き必要だと感じてもらえるのではないのでしょうか。現場の困っている声をどれだけ拾い上げられるかが重要です。

徳厚労の県執行委員会、支部執行委員会の出席率の高さにも感心します。ただ集まるだけでなく、多くの人が発言し、なかなか議論が尽きません。組合役員という壁はなく、自由に発言しやすい雰囲気があります。それが、原動力だと思います。

要求実現のためには、声を上げなければ始まりません。労働組合が、上がってきた声を真摯に受け止め、要求にし、実現に向け取り組むのは当たり前のことではあります。その当たり前前の方が一番大切なことだと思っています。事務折衝、団交に臨むまでの過程が重要だと考えています。これからも、そういう活動を続けていきます。

団結して春闘勝利へ

三北ブロック春闘討論集会

2月15日、全厚労三北ブロック2019年春闘討論集会が石川県に於いて開催され、各県の春闘の取り組みや様々な問題と経過について報告されました。

制度の見直し提案、 慎重に議論

北厚労では人事諸制度等の見直しについて、等級制度・評価制度・賃金制度に関する事項の見直しが会から提案されたことが報告されました。その他、所定労働

出産手当金を申請、利用したいとし、出産した女性職員には出産祝金として30万円支給する内容となっています。各県連の状況等を確認しながら、組合員への不利益変更とならないよう慎重な対応が求められます。

福厚労のパワハラ裁判では、個人署名が3396筆集まっていたことが報告されました。引き続き多くの方の支援をよろしくお願います。新厚労では4年にわたる期間を経て、3件の不当労働行為救済申立について、会との和解が成立。正常な労使関係の再構築に向けてスタートが切られました。

働日の変更や特別有給休暇（ゆとり休暇）の見直しを提案され、各分会からの意見や要望をもとに交渉・協議を進め、互いに納得できるように議論を進めることが大切と報告されました。富厚労では、産前産後の対応に関して見直しの提案がされ、今後は健保組合の

春闘では、全厚労統一要求に合わせ、ベースアップを要求することが確認されました。ペアの金額は各県によって違いがありますが、組合員の生活を守るためには賃上げが必要であることもしっかり訴えることが重要です。

また、人員不足解消に向けて、組合員全員で団結し今年度の新聞報道で地域住民もはじめて耳にした状況なのか、「地元の積年の思いで立てた病院をなんの相談もなく、経営判断での縮小は許せない。地域を巻き込んだ病院機能存続の運動に取り組んでいる。協力と支援をお願いしたい」と話されました。地域医療存続の思いは、すべての生活地域の思いです。積極的な支援を確認しました。



各県の報告や質疑応答で議論が一層深まりました

地域医療存続はすべての生活地域の願い

関信ブロック19春闘討論集会in長野

2月23日、24日にかけて、長野県千曲市上山田温泉にて関信ブロック19年春闘討論集会が開催され、4県44名が参加しました。1日目は、神奈川中執の岡部さんから「職能給および複線型人事制度について」の学習会がありました。

長厚労における「管理部人材育成制度」の検討にて、会から提案されている処遇のコース別管理制度について、賃金体系の変更提案問題を論点に学習しました。管理部という同じ体系での処遇差別が問題であり、本所枠と事業所枠というコース

ス別採用の違いだけで、大きな格差をつけることが複雑な人事制度の本質的なねらいだと指摘し、真の同一労働同一賃金の立場から、問題を労働組合として主張することが大切であると痛切しました。

各県からは、2日間にわたり賃金・評価制度、退職金制度の変更を中心に秋闘総括と春闘の取り組みについて報告がありました。特に茨城のなめがた地域医療センターの大幅縮小問題について報告があり、2月8

日の新聞報道で地域住民もはじめて耳にした状況なのか、「地元の積年の思いで立てた病院をなんの相談もなく、経営判断での縮小は許せない。地域を巻き込んだ病院機能存続の運動に取り組んでいる。協力と支援をお願いしたい」と話されました。地域医療存続の思いは、すべての生活地域の思いです。積極的な支援を確認しました。



団結して春闘に取り組む意思統一ができました

また、なかなか充足しない看護師を中心とした人員不足と過重労働の影響について、職場における生々しい現状報告が話されました。入職間もなくメンタルや病

気等によって退職が後を絶たず、人手不足のまま労働

密度の上昇は抑えられずギスギスした人間関係が続いている状況です。働き方そのものや、教育体制自体に問題があるとの意見もありました。

今年の上山田温泉は、風は強く真冬の寒さは否めないものの、晴天で雪もない穏やかな天候のなか、懇親会のあとに、「ご当地名物「おしほりうどん」というとても辛い「ねずみ大根」のおろしとみそを入れたつけ汁でいただく手打ちうどんの強烈な辛みを堪能された方もいらっしやいました。最後は熊総労の齊藤執行委員長「団結ガンパロー」で閉会しました。

歴史学をどうとで核兵器廃絶運動へ

被災65年 3・1ビキニデー集会

いまから65年前、太平洋マールシャル諸島で、アメリカが行なった水爆実験により、周辺に住む島民や、日本のマグロ漁船「第五福竜丸」をはじめ多くの漁船が被爆しました。この「ビキニ事件」は広島・長崎の原爆の記憶が生々しく残る日本に「原水爆禁止」の運動をつくりあげ、国連で採択された「核兵器禁止条約」へと続く世界的な本流へと発展しました。

ビキニ事件1年後に第1回原水爆禁止世界大会が広島で開催され、以後毎年8月に世界大会が開かれています。3・1ビキニデー集会は8月の世界大会に向う運動の出発点となり、水爆実験での被害者・犠牲者を追悼し、核兵器のない世界への決意を新にする機会として、静岡県焼津を会場に毎年開催されています。2019年3・1ビキニデー集会には全厚労から本部書記局を含め8県29名が参加、全体では日本原水協全国集會に1500名が参加し、学習を深める分科会や、行進を行ないました。



焼津浜にて全厚労参加者記念撮影

ビキニ被爆の 真実を知る

2月28日・3月1日の2日間、静岡のビキニデー集会に参加した。私は広島で生まれ育った為に平和学習は子供のころから当たり前だった。祖母も被爆者なので被爆三世と言う事になる。小学校の遠足の定番は原爆資料館だった。小学校の修学旅行では長崎の原爆資料館へ行った。原爆被害についてはある程度知っていたと思っていた。子供の頃、時々原爆後に逃げてきた焼

け焦げた人たちの世話をし、被爆をしたと祖母から話を聞かされたが、いつも泣

きながら話してくれていたのを思い出す。ビキニデーについては、教科書に1ページくらい第五福竜丸について書かれていた程度しか知らなかった。今回ビキニデー集会に参加して自分の知っていた事実は水山の一角で、実際に被爆していた漁船、人の数はとても多かつた事が分かった。更に、政府が隠ぺいし、国民が水爆実験の真実を知ることがないようにしていたことも初めて知った。そこで教科書に少ししか載っていなかった理由が分かった。教育の段階で自分たちの都合の悪いことは教えない。ビキニ環礁での水爆実験

「言いたい劇場」 小菅りや子



第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんの墓参行進

被災65年「2019年3・1ビキニデー」に参加しました。私自身、以前から興味のある平和活動に参加することができ、また水爆被災65年という節目の年に参加でき、とてもいい経験となりました。



心も体も苦しめる 原水爆 三重・稲葉咲帆さん(写真左)

また、被爆した乗組員も、被爆の事実をいえないなかったことを知り、原水爆は人々の心も体も苦しめていたのだと感じました。平和活動に参加したからこそ、青年ができることは何だろうかと感じさせられた2日間でした。原水爆について感じたことを周りに知らせ、平和活動に参加して欲しいことを、伝えていきたいと思

います。伝える大切さを感じて
茨城・菅野弘子さん

分科会では「ビキニ事件と原水爆禁止運動」に参加しました。原水爆実験の映像もあり、よりリアルに原水爆の恐ろしさを感じる事ができました。水爆実験では日本の漁船のみでなく、現地の人々を被爆させ、環境汚染を起こしたにも関わらず、追跡調査や救済措置も取られず、解明されるべきことが解明されないまま過ぎてしまったことを知りました。

今回は若い人達の参加も多く、嬉しくなりました。残念ながら「第五福竜丸」の乗組員の方々が、次々と他界し、先日、見崎進さんがなくなりました。大石又七さんも入院中でビキニデー集会には参加できず、同じ乗組員の池田正穂さんが参加されました。正しい内容を伝えてくれる方がいなくなるのがさびしいです。池田さんと握手をして「頑張ってください」と声かけできたことが大切な思い出になりました。

参加者の声

で被害にあった人たちが、なぜ声を上げて訴えることが出来なかったのか？自分たちの生活を天秤に掛けなければいけないのだ。福島で起きた原発事故による風評被害を見ればよく分かる。自分たちが被爆したことを声に出して訴えようと、差別の対象にされ、さらに魚が売れなくなり生活が出来なくなるからである。広島・長崎の被爆者は手厚い補償で生活できたが、彼ら

2013年に初めてビキニデー集会に参加してから、今回で7回目の参加となりました。初めは内容も分からぬままの参加でしたが、内容を学ぶうちに、もっと深く知りたいと思いました。毎年ビキニデー集会で「第五福竜丸」の乗組員・大石又七さんが懸命に訴えている姿に感銘を受け、昨年は今まで学習した内容とネットで調べたことをもとに、茨厚労としてビキニデーの学習資料も作りました。



2013年に初めてビキニデー集会に参加してから、今回で7回目の参加となりました。初めは内容も分からぬままの参加でしたが、内容を学ぶうちに、もっと深く知りたいと思いました。毎年ビキニデー集会で「第五福竜丸」の乗組員・大石又七さんが懸命に訴えている姿に感銘を受け、昨年は今まで学習した内容とネットで調べたことをもとに、茨厚労としてビキニデーの学習資料も作りました。

(教宣部・高本奉彦)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第139回は新潟と山口をお願いします。



新潟 大平雅浩さん

新潟からは組合本部書記長の大平雅浩さんをご紹介します。書記長は2年目、専従になってもう少しで1年ですが、まだまだ半人前です。和田執行委員長とは、10数年前に青年委員会で同じ釜の飯を食べた仲間であり、縁あってまた同じ釜の飯を食べることになりました。昔の仲間は大切です。

現在、一人暮らしをしているためか不摂生が続き、体重は増加傾向のようです。忙しい中ではありますが、時間を見つけライブやフェスで気分転換をしてエネルギーを充電し、その力を組合活動へ注いでいます。



山口 若林大介さん

山口県からは、この人をご紹介します。山厚労で自慢のルーキー、執行委員の若林大介さんです。ここ最近話題になっている元乃隅稻荷神社、プーチン大統領との会談で使用された大谷山荘のある長門支部で活躍している執行委員です。

2016年に執行委員となり2年という若手ですが、現在様々な場面で勉強を重ね厚生連をより良いものにしようと日々努力をしています。

私生活では釣りが趣味で日々エギングに励んでいます。ただ寒さ対策を怠り風邪を引いたり自己管理には問題がありますが…。(笑)

また病院では情報管理士をする傍ら、職員旅行や病院祭などの企画をしたりと活躍の場を広げています。病院にとっても欠かせない存在になっています。

執行委員となり経験は少ないですが、みんなの為に出来る限りの事をしようと考えています。

自慢のルーキーを見かけられたときは暖かい声をおかけくださいね。

読者の声

う！と思えました。昨年は人生を左右する出来事がありました。色んな方に助けられました。(福島)

今年1年も頑張っています。周りの方に助け合える方々がいるのは素晴らしいことですね。私もそうありたいと思います。(KT)

私は赤十字の看護学校に通い、災害救護訓練を毎年行っています。目の前に倒れている傷病者をトリアージし、応急処置、搬送とDMATについても学びました。その光景を思い出しました。今は臨床で働き3年目で大災害に直面することなく過ごすことができているのですが、もし災害が起きたとき

はその学びを思い出しながら人々の役に立てるよう力を尽くしたいものです。(秋田)

いざ災害に直面した時、自分がどんな行動ができるのか、慌てず考えて行動できるのか、ほんとに不安に思います。多分私は慌てる気がします。でも、少しでも役に立てるよう、学びが活かせるよう毎年の災害訓練は必要ですね。(SN)

全厚労二コースを見ながら、全国各地の方がより良い職場環境づくりと活動されている姿を見て知り、一組合員の自分に何ができるのかいつも自問自答しています。全国の組合員が働きやすい職場に

なるようにこれからも頑張ってください！これからも現場の声を自施設の執行委員の方に伝えていきたいと思えます。(富山)

今年が始まりました。と言いつとは、平成が終わりに近づいていきます。期待や不安と少し寂しい不思議な感覚です。消費税増税や自然災害からの復興など国を挙げて

問題に取り組み事も重要ですが労働改善や職場環境の改善などできることから行動して行きたいと思えます。(静岡)

いよいよ平成最後の春闘が始まります。有終の美を飾れるよう組合員みなで力を合わせてガンバリ！(YS)

早いものでまた新しい1年が始まります。今年は消費税が10%に引き上げられるので、その分給与や賞与も増えるといいなと切に願います。(富山)

病院収益は診療報酬に左右される為、全厚労で行っている厚労省交渉に結果訴える必要がありますね。選挙も行ってね。(KU)

ザ★クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7			8		9
	10			11	
12	13	14	15		16
17	18	19		20	21
22		23	24		25
26				27	

【問題】二重ワクの文字を、A〜Fの順に並べてできる言葉は、なに？

■タテのカギ

1 花まつりで仏像にそそぐ

2 …シャイン。…ルーム

3 利益と損失。…関係

4 樹木希林さんがハンセン病の女性を演じた映画

5 脱落者ともいう乗車の反対

6 棚から落ちてくること

7 …文字。すまし…。

8 再流行。…ヒット。

9 トイレと共同の場合も貧乏…。…運。

10 空気がないこと

11 穏健派のこと

12 自力の反対

13 アキレスと…。

14 …網。「おかげ…」

- ヨコのカギ
- 1 砂を抜いて食べる
- 4 キツネの好物？
- 7 近年は紙よりスマホに移行中？
- 9 カツや焼き鳥に刺す
- 10 まな…。…前。
- 11 ♪お猿の…だ、ほいさっさ
- 12 将棋の「香車」の別名
- 14 多人数の会合や行事
- 16 中国人が春節で鳴らす
- 18 南国の海沿いの…並木
- 20 クララの親友
- 21 二枚…。…を巻く。
- 23 三島由紀夫『潮騒』の舞台は三重県…市。
- 24 生命力。エナジー
- 26 「…じゃ、濡れてまいろう」
- 27 旅行記。…文
- 28 …網。「おかげ…」

締め切り：2019年4月末日 消印有効
あて先：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係

是非ご加入ください

みんなでつくる 大きな安心
ご相談・お問い合わせは
お気軽に労働組合の
共済担当者まで
フリーダイヤル
0120-160931

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★

教宣部の つぶやき

春の訪れ
5年前から飼
い始めたギリシ
ヤリクガメのギ
リちゃん。今年
の冬はヒーター
が途中で壊れ食
欲低下。ほぼ冬
眠状態にさせて
しまつてごめん
ねと反省。最近
暖かくなり、の
そつと動き出し
食欲全開!!ギリには快
適でも私は花粉症で不
快な季節。今週末はギ
リの大好きな温浴をし
て、フルーツを食べさ
せてあげよう。(OK)